

臨床データ利用のお願い

海南病院では、以下の研究を実施しています。本研究の対象者に該当する可能性のある方で、カルテ情報を研究目的に利用されることをご希望されない場合などお問い合わせがありましたら、お手数ですが以下の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

「災害時に NICU から避難が必要となる患者数と重症度(トリアージ分類)の調査」

2. 研究責任者

海南病院小児科 六鹿泰弘

3. 研究の概要

大規模な災害が発生すると NICU(新生児集中治療室)を持つ病院も被災し、ライフラインの途絶、建物の倒壊などの可能性があり、病院機能が維持できなくなることがあります。NICU に入院している子どもたちは、その中でも特に脆弱であり、このような状況が即生命維持に直結します。愛知県全体としての NICU 入院数は年単位で把握されていますが、今、この瞬間に大規模災害が発生した際、どれくらいの重症度のお子さんが何人ぐらいどの NICU に入院しているのかについては把握ができていません。

重症度の把握にはトリアージというスコアを使います。従来使用されてきた 5 段階のトリアージ(図 1)では、患者さんの重症度を十分に把握しきれないことが指摘されており、私たちは新しい 12 段階のトリアージを開発しました(図 2)。私たちの病院では普段、災害への備えとして毎日 NICU のこどもたちにこの 2 つのトリアージを行っています。しかしながら、現時点では実際の災害時にどのようなトリアージが有効なのかは明らかになっていないため、今回の調査で改めて検証できればと考えています。

このような基礎データが揃うことで、愛知県全体の被災時の対策を考える際に、具体的な方略を考えることができるようになります。また、愛知県は全国の中でも比較的人口規模が大きく、当県でのデータを元に、他県あるいは世界の状況を類推することが可能となり非常に意義があると考えています。

NICU での緊急避難トリアージ分類 (案)

I: 緑	保温に注意しながら可能な限り避難	・コットで経口哺乳を行っている患児
II: 黄	医療行為が必要だが避難可能	・通常の輸液管理 (PI カテーテル、中心静脈栄養も含む) を行っている患児 ・経管栄養を行っている患児
III: 赤	医療行為が必要だが状況に応じて避難	・人工呼吸器管理中 (挿管下または CPAP など) で避難可能と判断された患児 ・酸素投与中の患児 *上記 2 項目については、酸素を絶対中止できない場合は、黄色タグまで避難終了後、NICU フロアと避難経路に火災が起きていなければ避難を考慮 ・循環作動薬など使用中の患児 ・動脈ラインまたは膈カテーテル挿入中の患児 ・各種ドレーナージ中の患児 ・閉鎖型保育器管理中の患児 (体温保持が可能であれば黄)
IV: 灰	災害の重大性、緊急性に応じて、避難の可否は各施設で判断	NICU からの避難自体が児の生命を脅かす場合 ・高度な集中治療を要する (HFO や高い設定の人工呼吸器管理、NO 吸入療法、ECMO、CHDF、在胎週数 26 週未満の超早産児で生後 72 時間以内)

(図 1) 従来のトリアージ法

A項目	0点	1点	2点
体重と週数	2500g以上かつ修正週数 37w0d以上	1000-2500g または修正 28-36w	1000g未満 または修正 28w未満
呼吸補助	なし または 酸素のみ	NIPPV or HFNC	侵襲的呼吸管理
挿管以外の体内ルート	なし	3本以内	4本以上
モニタリング	なし	SpO2 のみ	SpO2 呼吸心拍モニター
使用中のベッド	コット サークルベッド	閉鎖式保育器 30℃未満 または開放式で加温不要	閉鎖式保育器 30℃以上 または開放式で加温
B項目	0点	1点	2点
リスク	継続困難なものはない またはあるが中断しても大きなリスクがない	継続困難なものがある ↓ 中断により状態悪化のリスク	継続困難なものがある ↓ 中断により急変や生命のリスクがある

A項目 + B項目 = 0-12点のスコアリング

(図 2) 新しいトリアージ法

研究方法

①対象となる患者さん

西暦 2022 年 10 月 1 日から西暦 2023 年 9 月 30 日までに当院 NICU、GCU に入院された患者さん

②使用する試料等

残余検体：使用しません

カルテ情報：以下の医療情報を電子カルテから収集します

- ・ 基本情報：出生週数、出生体重、修正週数、評価当日もしくは直近の体重、日齢、バイタルサイン(心拍数、血圧、呼吸数)、入室時診断名
- ・ 関連項目：人工呼吸（有無、呼吸器の種類、設定）、循環薬剤（種類、使用量）
その他使用している薬剤、使用しているデバイス

4. 個人情報の取扱い

貴重な患者さんの個人情報は、「個人情報保護法」及び「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」など各種法令に基づいて管理します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

5. 問い合わせ先・相談窓口

JA 愛知厚生連 海南病院 小児科 六鹿泰弘、小久保稔

電話：0567-65-2511（代表）